

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20454	
事業名	ひとり親家庭等医療助成費						
評価担当課	所属名	保)保険医療部 保険企画課					
	課長名	春田 一実	担当者名	小代 葵	電話番号	011-211-2960	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	ひとり親家庭等の保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図る。				
		長期	ひとり親家庭等の保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図る。				
	取組内容	<p>【内容】一定の要件を満たす子、母親または父親に係る医療費自己負担分の一部を助成。</p> <p>①母親または父親 入院のみ助成対象 ②子 入院、入院外が助成対象</p> <p>■0歳～小学生の子、生計維持者が市民税非課税の方は、初診時に一部負担金 医科580円、歯科510円、柔道整復270円を自己負担。■中学生以上で生計維持者が市民税課税の方は、一割負担。ただし、次の限度額あり。・1医療機関ごとの限度額 入院外3,000円/月(院内処方の場合は6,000円/月)、入院57,600円/月・1か月の限度額 入院外18,000円/月、世帯57,600円/月</p>					
実施結果	一定の要件を満たすひとり親家庭等の子、母親または父親に係る医療費自己負担分の一部を助成する。 助成件数 226,994件 助成金額 556,792千円						
事業実施における工夫点	安易な受診を誘発しないため、一部負担金を設けている。						
対象者	ひとり親家庭等の方々			開始	昭和48年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費助成要綱・実施要領 北海道医療給付事業補助金交付要綱						
他都市の状況	道内他市町村、他政令市にも同様の制度がある。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	518,055	579,771	556,792	576,603
うち特定財源	248,064	283,276	261,016	275,975
人工	14.0	15.0	15.0	15.0
人件費	100,800	108,000	108,000	108,000
計(事業費+人件費)	618,855	687,771	664,792	684,603
事業費の内訳	令和3年度決算	ひとり親家庭等への医療費助成金(扶助費) 556,792千円 助成単価(1件あたり)①親39,076円②子2,225円		
	令和4年度予算	ひとり親家庭等への医療費助成金(扶助費) 576,603千円 助成単価(1件あたり)①親40,311円②子2,061円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	指標化困難			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名	指標化困難			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	指標化困難			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名	指標化困難			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	当事業において医療費を助成するサービスを提供し続けることによって、ひとり親家庭等が安心して生活を送るための環境づくりに寄与していることから、事業の成果と施策への貢献度は高いものと考えられる。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	札幌市では、道の定めた補助基準を一部拡大して当事業を実施しており、事業の規模及び拡大状況については他都市と比較しても妥当である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	当事業において医療費の一部を札幌市が現物給付及び現金給付することにより、受給者は当事業で定める一部負担金のみで医療機関等を受診できる仕組みとなっている。これについては、適正な手法により当事業が実施されているといえる。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	ひとり親家庭等は経済的に困窮しているケースも多く、医療費の助成の有無はまさに死活問題である。少子化社会の中で、全ての子どもが健やかに成長する環境を整備するという意味においても、本事業の必要性は極めて高い。一部対象者からは、親の通院についても助成を希望する声がある。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	ひとり親家庭等の健康支援を図るため、事業の安定的な運営とその事業効果を把握のうえ、子育てに関する不安や負担感の解消を図るための今後の事業のあり方について、道の補助制度等を踏まえながら、引き続き検討していく必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	適正に執行されているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 次年度においても同規模を見込んでいる。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他		見直し効果額	0 千円